

# 授業計画書(シラバス)

教科名	応用造形	曜日 時間	水曜日 9:10~15:50	担当者名	本郷仁
-----	------	----------	-------------------	------	-----

	前期指導案		後期指導案	
(年間 26回 授業日)	4月	14 21 28	10月	6 13 20 27
	5月	12 19 26	11月	10 17 24
	6月	2 9 23 30	12月	1 8 15 22
	7月	7 14	1月	12 19
	9月	1	2月	
方授 法業	( 講義 ・ <b>実技</b> )		( 講義 ・ <b>実技</b> )	
授 業 内 容	<p>《大阪産業大学との連携授業》 大阪産業大学建築・環境デザイン学科笹岡研究室の学生と共同で、ガラスプロダクトのデザインと実制作について学ぶ。 4~6月:毎週水曜日、Skypeによる合同授業 6月中旬:来所予定。試作品を基に検討 7月中旬:プロトタイプ完成</p> <p>《各教員からの指導》 担当教員以外の教員による授業を行う。 Jara:4/21,5/12,19,26午前、松藤:4/28午前 Boyd:5/11午後、中神:5/27午前</p> <p>《アイデア展開》 各自の作品を展開するために、お互いの発想や表現方法について検証する。</p>		<p>《ガラス制作者として必要な、素材や設備機材に関する知識を、講義と制作を通して学ぶ》 ガラスの物理的特性、溶解炉・電気炉の仕組み、ガラスの製法、歴史から見たガラス工芸・美術など。</p> <p>《素材研究実習、クイックプロジェクト》 ガラス素材の特性を理解し、新たな発想のきっかけを見つけるために、ガラスを用いた実験的制作を行う。毎週テーマを設け、ガラス以外の素材を用いた小作品の制作を行い、素材の特性と視覚表現の基礎を学ぶ。</p> <p>《デジタル技術演習》 富山県デザインセンターを利用して、デジタル技術について学ぶ。</p>	
到達 目標	他者との協働(グループワーク)と個々の作品の検証を通して、柔軟な発想力を養い、より個性的な表現の確立を目指す。		将来を見据えた制作の方向性の模索と、制作発表に関する実践的な知識経験の獲得。	
成績 基準 評価	各課題への取り組みの姿勢と。作品を実現するための具体的かつ計画的な制作。提出課題作品の相対的な質と量。		各課題への取り組みの姿勢と。作品を実現するための具体的かつ計画的な制作。提出課題作品の相対的な質と量。	
留意 事項	大阪産業大学との打ち合わせ(共通認識の確認)		本クラス課題と各人の研究制作の時間的バランス。	